



新潟市水族館 マリンピア日本海

2019/09/22 関東地方ESD活動支援センター 地域意見交換会 in 新潟

新潟市水族館マリンピア日本海 大和 淳

今日の話し

1. 新潟市水族館マリンピア日本海の概要
2. 水族館とは？
3. 取り組み紹介
4. 今後の展望

自己紹介

大和 淳 (やまとあつし)

- 1990年4月～ マリンピア日本海に勤務
海獣類・ペンギン → イルカ → 海水魚 → 無脊椎動物 (サンゴ・クラゲ) → PR部門 → 教育普及担当 → 2019年4月～学びのデザイン室 室長
- 2012年 立教大学独立研究科 異文化コミュニケーション研究科前期課程修了 (水族館での環境教育)
- JAZA教育普及委員会委員・普及啓発部長

1. 新潟市水族館 マリンピア日本海の概要

1. マリンピア日本海の概要

【沿革】

- 1990年7月：市政100周年を記念して建設・開館（設置者は新潟市）
- 2012年9月：リニューアル工事のため休館
- 2013年7月：リニューアルオープン

【運営】

- 1990年～新潟市開発公社へ委託
- 2017年4月～「公益財団法人 新潟市海洋河川文化財団」が指定管理者

1. マリンピア日本海の概要

【ミッション（財団）】

私たちは、自然について楽しみながら学べる機会を提供し、生命の多様性が尊重される社会に貢献します。

【学びのデザイン室について】

- 2019年4月に教育普及の専任部署として新規に設置（室員5名・・・専任は大和のみ）
- 地域ESD活動推進拠点についての主担当

2. 水族館とは

2. 水族館とは

水族館の定義（きちんとした定義はない）

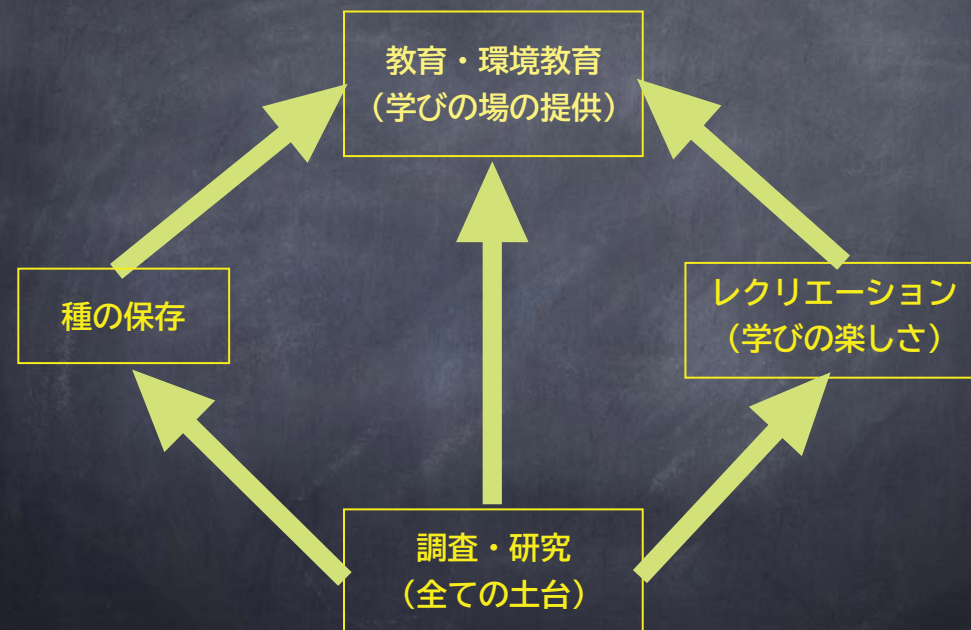
**水生生物を
集め、飼育し、展示する
施設**

2. 水族館とは

水族館の役割

- ① レクリエーション
- ② 種の保存
- ③ 調査・研究
- ④ 教育・環境教育

2. 水族館とは



3. 取り組み紹介

3. 取り組み紹介

※正式に地域拠点に登録されたのが2018年12月下旬のため、登録前に実施していた取り組みを含みます。

【1】「海の豊かさを守ろう」ワークショップ

【2】だいしアカデミーでのワークショップ

3. 取り組み紹介

【1】「海の豊かさを守ろう」ワークショップ

①ねらい

「海の豊かさを守る」ということを自分ごと（自分たちごと）にする

②概要

- ◎ 日時 : 2018年7月26日（木）11:00～12:00
- ◎ 対象 : 一般（大人） 事前申し込み無しで当日集合
- ◎ 参加者 : 13名（定員は最大で20名程度）
- ◎ 場所 : 新潟日報メディアシップ1階
- ◎ 新潟港開港150周年プレ行事「海フェスタにいがた一海の総合展」で行われたステージイベントのひとつとして実施。当館からは他に3つのプログラムを実施した。1時間のプログラムとして実施。

3. 取り組み紹介

【1】「海の豊かさを守ろう」ワークショップ



広い海は思い出を思い出させてくれる／人間は海から生まれてきたんだ・・・／海は人のふるさとだ／海産物（恵み）／交流の場（ローカルからグローバルへ）／海洋資源が豊か（ガス、ヨウ素、石油）／海はまだ分かっていないことが多い／海は水（さんずい）+海 → 毎日の暮らしに「海」がある！／知ってそうで知らない海のこと／海の豊かさ食べることひとりひとり何が出来るか／ひとりひとりが海をきれいにしようとする自覚を持つ／意外とみんな知らない・・・海の意識の低下／海が私たちにとって大切なものという意識付け／汚れると暮らしのレベルが低下する → だから汚れる原因を作るのをやめよう！
海に行ったらゴミを10個持って帰る／ゴミを出さない／ゴミの分別／他国も含めてのゴミ問題／川から海へ流れてしまう／リサイクル、リユース
温暖化／浜辺が無くなっている・・・海の遊び場が減ってきている／日本だけじゃダメ／水族館の役割・・・種の保存も大事。

3. 取り組み紹介

【1】「だいしアカデミー」でのワークショップ（当館で実施）

- ・2018年8月「海をとおして私たちのミライを考えよう！」
- ・2019年8月「しいくのウラがわから海の世界を考えよう！」

①ねらい

海や陸水の世界やそこにすむ生きものにとって人の影響が大きいことを実感する
環境や生き物を保全するために、私たち1人1人が何が出来るかを考える

②概要

- ◎ 対象 : 小学校4～6年生（保護者同伴）
- ◎ 参加者 : 15人／回（4回実施）
- ◎ 場所 : マリンピア日本海
- ◎ 新潟市に本社がある「第四銀行（今年度は北越銀行も参加）」が毎年夏に実施している「だいし（ほくえつ）アカデミー」のプログラムとして実施した。
- ◎ 企業のSDGsへの取り組みとして当館とコラボ

3. 取り組み紹介

【2】「だいしアカデミー」でのワークショップ（当館で実施）



◎子供の感想（抜粋）

海の問題をいろいろ聞いて沢山考えた／おどろいたことやふしぎに思ったことがいっぱいあった／意見を言ったらスッキリした／自分で考える場面が多かったため良かった／ポイ捨てはしたくない／ゴミをへらしたいとおもった／生き物のためにきれいな海を守らないといけないと思いました／むずかしかった

◎保護者の感想（抜粋）

環境についての考え方は携わる仕事によって違う見方となるので難しい／大人も子供も環境について改めて考える事ができる良いきっかけになった／子供たちの手本となれるような行動をしたいと思いました

3. 取り組み紹介

【4】他にも

- 田んぼ体験

マリンピア日本海にある「いいがたフィールド」の田んぼで実施

田植え・稲刈り・稲架掛け・脱穀・稲わら工作

4歳以上を対象

※ 基本、田んぼの水は抜かない（田んぼと水生生物）

- NPOなどとの協力関係

- ・ 五泉トゲソの会
- ・ タランバクラブ

- 行政などとの連携

- ・ 新潟市内自然科学系施設連携

新潟市環境政策課が発案声がけ

県立科学館、植物園、鳥屋野潟公園、佐潟水鳥湿地センター、ビュー福島潟、里山ビジターセンター、環境省新潟事務所、県環境企画課、秋葉区、マリンピア日本海



4. 今後の展望

4. 今後の展望

ESD地域拠点の活動 ≡ 学びのデザイン室の業務

◎ 学校団体との連携の強化

◎ 他団体との協働、アウトリーチ活動の強化

◎ パートナーシップの構築

環境教育・ESD・SDGs の視点

もっとマリンピア日本海を使い倒してほしい！

水族館はどのゴールに貢献できそうですか？

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

